

漢字 (のりもの)

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

かんじ

漢字「汽・船・電」を読んで書こう

きょうの 漢字

汽

キ

きしゃ きせん
汽車・汽船

船

セン・ふね・ふな

ふね ふうせん
船・風船

電

デン

でんしゃ でんわ
電車・電話

上は「雨」の形

いっしょにやってみよう

れい

「でんしゃ」の「でん」はどれ？

① 上は「雨」の形

② 「でん」と読む字

③ 答え **電**

やってみよう

できたところまででOK

① 線の漢字の正しい読みに○をつけよう。

(1) 汽車が走る。

き

ふな

(2) 船にのる。

せん

ふね

(3) 電車が来る。

でん

き

② □に漢字を書こう。

(1) 車のえ。

き

(2) 風 がとぶ。

せん

(3) 話をかける。

でん

③ 「ふうせん」と読むことばはどれ？

☐

風船

☐

風電

☐

風汽

答え

1. (1) き (2) ふね (3) でん 2. (1) 汽 (2) 船 (3) 電 3. 風船

むかしばなしを 読もう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📖 きょうの
めあて

むかしばなしの 出だしや 言い方に
なれ、だれが 何を したか 読みとろう

🔍 お話を 読もう

むかし むかし、ある 山の ふもとに、まじめな 木こりが すんでおったそうな。
ある 日、木こりが 森で 木を 切っていると、きつねが わなに かかって ないて
おった。木こりは そっと わなを はずして やった。
つぎの 朝、木こりの 家の 前に、山ぶどうが どっさり おいて あったとき。

🗨️ いっしょにやってみよう

📖 れい むかしばなしの はじまりの ことばは？

① お話の いちばん
はじめを読む。

② 「むかし むかし、」

③ むかし むかし

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 木こりは、きつねに 何を して やった？

② つぎの 朝、木こりの 家の 前に 何が あった？

()

③ むかしばなしらしい 言い方を えらぼう。

☐ すんで おった そうな

☐ すんで いました

がみ 手紙を 書こう（おれい）

たしかめ いっしょに やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

だれに、何の おれいをつたえるか
きめて、^{みじか}短い^{がみ}手紙を 書こう

メモを 読もう

がみ 手紙の メモ

あいて：となりの 家の 山田さん

つたえたい こと：雨の 日にかさを かしてくれた

気持ち：とても たすかった

いっしょにやってみよう

れい ^{がみ}手紙の はじめに 書く ことは？

ステップ ①

だれに
書く？

ステップ ②

あいての
名前を書く。

ステップ ③

山田さんへ

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① メモの「つたえたい こと」に 合う ほうを えらぼう。

☐ かさを かしてくれた

☐ 本を くれた

② メモをつかって、おれいの 文を 書こう。

③ ^{がみ}手紙の さいごに 書く ものは どれ？

☐ ^{じぶん}自分の 名前

☐ あいての すきな もの

答え

1. かさを かしてくれた

2. 例：雨の 日にかさを かしてくださって、ありがとうございます。とても たすかりました。

3. 自分の 名前

かんじ
漢字 (まなぶ)

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

かんじ
漢字「教・科・算」を読んで書こう

きょうの かんじ
漢字

教

キョウ・おし (える)

おし きょうしつ
教える・教室

科

カ

り か きょうかしょ
理科・教科書

算

サン

さんすう けいさん
算数・計算

上は「竹」の形

いっしょにやってみよう

れい 「おしえる」の「おし」はどれ？

- ① ほかの 人に 知らせて 分らせる
- ② 「教」に「える」をつける
- ③ 答え **教** える

やってみよう

できたところまでで OK

① 線の かんじ 漢字の 正しい 読み に ○ を つけよう。

(1) 道を 教える。

おし きょう

(2) 教科書

おし か

(3) 算数の 本。

さん おし

② □に かんじ 漢字を 書こう。

(1) あそび方を

おし
□ える。

(2) □ □ 書

(3) □ □ をする。

③ 「きょうかしょ」はどれ？

教科書 教書科 科教書

答え 1. (1) おし (2) か (3) さん 2. (1) 教 (2) 教科 (3) 計算 3. 教科書

つなぐ ことばを えらぼう

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

「そして」「でも」「だから」をつかい分けよう

まず、たしかめよう

つなぐ ことば	どんな とき
そして・それから	つけたす・次の こと
でも・けれど	前と ちがう こと
だから	前が わけで、そう なった

いっしょにやってみよう

れい 「よく ねた。()、^{げんき}元気だ。」

ステップ ①

ねた ことが
わけ。

ステップ ②

^{げんき}元気に なった。

ステップ ③

だから

やってみよう

できたところまでで OK

① () に 合う ことばを えらぼう。

(1) 犬は 小さい。()、力は 強い。... (でも・だから)

(2) 雪が ふった。()、雪だるまを ^{つく}作った。... (でも・だから)

(3) かおを あらった。()、はを みがいた。... (そして・でも)

② つなぐ ことばが 合っていない 文を えらぼう。

☐ あつい。だから、まどを あけた。

☐ あつい。でも、まどを あけた。

③ () に入る ことばを ^{じぶん}自分で えらび、文を 書こう。

雨が やんだ。()、

答え

1. (1) でも (2) だから (3) そして 2. あつい。でも、まどを あけた。

3. 例：雨が やんだ。だから、外へ 出た。